

中学生平和大使の解団式が行われました！

「石岡平和の会」から報告

身近な平和を守って行くことが、世界平和への第一歩



石岡平和の会は、毎年8月に開催される広島・長崎平和式典に、石岡市から「中学生平和大使」の派遣を要請しました。要請を受けた石岡市は、年度から広島と長崎へ年交代で中学生を派遣するようになりました。市内の中学校から代表を選んで派遣します。終了後、報告会を行います。以下は17年度の報告会の様子です。

■「当たり前前平和が実はとてもありがたいことだと分かった」との声

8月25日、石岡市役所で中学生平和大使の解団式が行われました。式では今回の派遣先である、長崎を訪れて感じたことや、これからの決意などを発表しました。

「長崎に行くまで、自分が恵まれた環境だと感じたことはなかった。それは現代が平和である状況しか知らなかったからだと思う。

当たり前前平和が実はとてもありがたいことだと分かった」とIさん(中2/女子)は、日常にある平和の大切さについて話しました。

またNさん(中2/女子)は、「まだ、自分には、世界に大

きな変化を起こすという事は無理かもしれない。それでも、身近な平和を守って行くということが、世界平和への第一歩だと思う。」と語りました。

繰り返してはならない戦争、守って行くべき平和。それを伝えて行く使命を果たすため、最後に生徒全員で「石岡市中学生平和宣言2017」を披露しました。(以上市報より転載)

■多感な中学生の時期に、広島・長崎の事実に触れることの大切さ

17年度現在、茨城県内では水戸市や土浦市、大洗町や東海村など、14自治体で中学生を平和大使として派遣しています。多感な中学生の時期に広島・長崎の事実に触れることの大切さは言うまでもありません。県内44自治体の全てが核兵器廃絶を願って「平和都市宣言」を行い、44自治体の長のすべてが核兵器の廃絶を願って「平和首長会議」に所属しています。この思いを具体化するためにも、県内全自治体で平和大使派遣が実現できるよう、自治体要請の強化が望まれます。

今の時代だからこそ、山本宣治に学ぼう！

土浦平和の会、学習親睦旅行は、27人で長野へ！

11月7日(火)、8日(水)、土浦平和の会は毎年取り組んでいる恒例の平和の旅を開催。地元の会員を中心に27人で、秋の平和の旅を満喫しました。

今年は長野県の「ちひろ美術館」、「松代大本営跡」、戦没した画学生たちの残した絵画や遺品を収蔵・展示している「無言館」を見学。また別所温泉にある山本宣次碑の前で、案内をいただいた長野の「山宣の会」の会員から話を聞きました。山本宣治は当時の過酷な治安維持法の中でたたかった議員です。1925年に制定された治安維持法によって、軍や政府に批判的な多くの国民が検挙・弾圧され、殺されました。28年(昭3)に最高刑が10年から死刑に改められましたが、それ



に断固反対したのが衆議院議員の山本宣治でした。29年(昭4)3月、右翼団員に暗殺されました。碑は翌年5月に上小農民が資金を集めて建立しています。この碑は国家によって破壊されようとしたことが、関係者によって隠し守られ再建されて、現在に至っています。

感想の中に「我々は、このくらいのたたかいでいいのか」「ここで8,300円だなんて言っているのは生ぬるい」などの声もだされ、非常に刺激的な旅行でした。ここで学んだことを心に、年末の課題に取り組みたいと思います。

被爆者国際署名



県知事と44自治体の長、

31名が肩書き署名に応じる！

新日本婦人の会が10月6日に、県議会に対して「核兵器禁止条約の調印を求める意見書」の採択を求めましたが、県議会はこれを否決しました。それと同時に大井川新知事に対して「被爆者国際署名」の肩書き署名を要請したところ、秘書課は「検討します」と回答しました。その後10月24日に知事公室から「署名しました。郵送します」との電話連絡がありました。県知事と44首長の肩書き署名は、11月10日現在で、31になりました。まだ未記入の自治体の長にも、攻勢的に要請することが急務となっています。

「核兵器禁止条約の調印を求める意見書」は、平和委員会も共同で県議会に提出します。

憲法バンクフルクト



憲法9条を変えて、

「戦争する自衛隊」にしているのですか

20頁 A5判 <選挙結果を踏まえて改定>

頒価：1冊 100円(多冊数割り引き有り送料は別途)

発行：憲法会議 Tel.03-3261-9007 Fax.03-3261-5453

2017年5月3日。安倍首相は憲法改正の期限を「2020年施行」と区切り、9条第1項、2項を残し、自衛隊を明記する考えを表明しました。この「安倍9条改憲」案は、災害支援等で「国民に役立つ自衛隊」を「戦争する自衛隊」に変え、「海外で戦争する国」への道です。一緒に、安倍首相の9条改憲について考えて見ましょう。【「安部9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」を掲載】

平和新聞

2017年11月25日(土)

2154号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 793

2017.11/25

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

「東海村と同等の権限を与る安全協定」を結べ！ 見直しの協議状況を住民に説明し、意見を聞くこと！

県平和委員会など東海第二原発の20年稼働延長に反対する市民団体は、11月10日（金）、御前10時30分から、「原子力所在地域首長懇談会（以下「懇談会」）」座長の山田修・東海村長に、「要請書」を手渡し、話し合いを行いました。

「懇談会」とは、東海村と日上市、ひたちなか市、那珂市、常陸太田市、水戸市の5市1村で構成されます。「懇談会」は、以前から日本原電に対して「原子力安全協定」の見直しを行う事を要請。東海第二原発の再稼働にあたって、「懇談会」を結成している5市にも東海村と同等の権限（稼働の可否を判断する権利）を認めることを要求しています。



■ 日本原電は「隣接市村に権限の拡大」要請には応えず、再稼働にひた走る

今年の6月に出されて日本原電の回答は、「権限の拡大」には触れず、「必要な場合、話し合いの場を設定する」というものでした。これに納得しない「懇談会」側は再度「権限の拡大」について要請しました。日本原電は回答せず20年稼働延長にまい進しています。これに対し「懇談会」側は、再度の回答を文書で要求しました。

「懇談会」の動きに対して市民団体は要請書を提出。①5市に、東海村と同等の権限を与えるという内容が盛り込まれていない協定は拒否する。②協定が見直されない限り、再稼働にかかわる話し合いも拒否する。③従来の協定での働は断固拒否する。④住民に見直し協議の状況を説明し意見を聞くこと、を求めました。

■ 日本原電に対して「安全協定の見直しを強く迫れ」と参加者！

山田村長は、東海村と同等の権限を認めるのは「かなり高い要求だ」とし「私たちの要求と日本原電側の考えには温度差がある」と述べました。参加者から「私たちにとっては一番低い要求だと思っている。原則を曲げないでほしい」という声が出ました。

東海第二原発の20年延長申請期限が11月28日に迫っています。日本原電が申請を出した場合、迅速に抗議行動を起こす準備も進んでいます。参加者は「周辺住民の安全を考えて、安全協定の見直しを強く迫る」ことを要求しました。参加者は38人。質問者が多く、時間は1時間の予定を10分ほど延長されました。



東海第2原発・20年延長許さない 東海村でポスター190枚一気に

11月8日、県北ブロックは、東海村で「東海第2原発廃炉」を求めるポスター張り出しの統一行動を行いました。これには東海、日立、ひたちなか、美和緒川、大宮、常陸太田の6平和の会、14人が参加。日本共産党の堀江鶴治、川崎厚子両衆議院候補も会員として参加、一緒に汗を流しました。午前は看板づくり、午後は4組に分かれ村内の主要道路などに190枚、140本の真新しいポスターを一気に張り出しました。

日本原電が20年の稼働延長の申請強行の構えを見せている中、県平和委員会と県北ブロックでは「最後まであきらめない。県民に訴えぬく」と意思統一、この日の行動になったもの。

引き続き周辺地域での「廃炉ポスター」張り出し、「東海第2廃炉」を求める宣伝ビラ6万枚の配布、各団体と協力し主要駅頭などでの街頭宣伝・スタンディング、11.19集会（東海村）の成功、首長申し入れや12月議会での請願活動などに取り組む予定です。



2017年 日本平和大会に1,100人 茨城から3人が参加 岩国に「基地強化NO!」「9条守れ!」の 声 響く!



2017年平和大会は、10月28日（土）、29日（日）、米軍基地の強化がすすむ山口県岩国市を中心に開催されました。茨城から3名が参加。関口さんは列車で、守谷さん（国公）、木村さん（平和委員会）は山梨県がチャーターした団体扱いの飛行機で羽田発8時45分に出発。2時間後の11時前に錦帯橋空港へ到着しました。そこに待っていた観光バスで、岩国基地を視察しました。あいにくの雨でしたが、広大な海岸を埋め立てて新たな滑走路を2つもが建設するなど、基地周囲の状況を含め、基地強化の状況を目のあたりにしました。

午後1時から防府市公会で開催された開会集会で関口さんと合流し、1100人の参加者と共に各地のたたかひの交流を楽しみました。翌日は、分科会に分かれて参加。全国各地で行われている基地強化反対のたたかひなど、平和への草の根の取り組みを交流しました。

戦争法の具体化に加え、北朝鮮の事態をも利用して日米軍事一体化と自衛隊の侵攻型軍隊への変貌が進んでいて、特に岩国基地が、空母艦載機の移転などで格段の強化がはかられている実態をみんな確認できました。

来年は、沖縄で開催です。

茨城独自の飛行機をチャーターして参加したいと思いました。

